

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年7月9日

団体名：春和会

No.	質問要旨	回答
3-1	道路の修繕と側溝の蓋の設置をお願いしたい。	【市長】 要望として担当課に共有します。 【担当課補足】 要望箇所は確認しますが、要望内容を地元自治会に相談いただき、要望書を土木課に提出いただくようお願いします。
3-2	消雪パイプが老朽化しているため、新しいものへ交換をお願いしたい。	【市長】 現地を確認し状況を把握します。50年前から設置されている消雪パイプは、パイプ自体の老朽化が原因である可能性や、井戸水の枯渇によって機能しない場合もあります。担当課に共有します。 【担当課補足】 老朽化により本来の機能が十分発揮されていない消雪パイプもあるため、順次、計画的に更新工事を行っています。要望箇所について現地を確認し、状況を把握したいので、要望内容を地元自治会に相談いただき、要望書を土木課に提出いただくようお願いします。
3-3	20年前から市役所隣接地に食堂を建設してほしいと要望があるが、農地振興地域（農振）のため実現していない。21年経った現在も状況は変わらないのか。	【市長】 20年前と状況は変わりません。農振除外には県の同意が必要となるため、市だけで決定はできません。市役所の食堂については当初計画にはあったものの、費用削減のため見送られた経緯があります。最終的には法律上の規定や関係機関の判断が必要です。
3-4	人口減少対策として交流人口を増やすことが重要だと考えている。燕市への誘客を促進するため、新潟空港までの新幹線延伸や、企業・商工会議所・県が一体となった観光振興策が必要ではないか。	【市長】 今年3月に「燕市観光振興プラン」を策定し、海外への積極的なセールスなど海外からの誘客にも力を入れています。新幹線延伸の実現には長期間を要し、県の判断や他地域の合意形成も必要です。国道116号バイパスの整備も進行中であり、国だけでなく市も用地買収に協力することで、早期の部分供用を目指しています。これらのインフラ整備も、燕市へのアクセス改善と誘客に寄与すると考えています。 一方で、市内にある「道の駅SORAIRO国上」が道の駅大賞全国3位を受賞するなど、目的地の創出に成功しています。訪れる人が満足できる環境整備を進め、今後も関係団体との連携を強化していきます。
3-5	高齢者人口が増加する中、介護施設や老人ホームの入居が困難であり、高額な費用も課題となっている。吉田法花堂の新規施設も開設する前から満員状態であり、行政として高齢者がスムーズに入居できるような施策を講じてほしい。	【市長】 まずは地域包括支援センターに相談いただき、適切な施設紹介などの情報提供をしていきます。施設不足という状況であれば、今後について検討していきます。 【担当課補足】 特別養護老人ホームの入所待機者数は平成28年の調査以降減少傾向であり、現時点で早急な施設整備が必要な段階ではないと考えます。入所費用の負担は軽減制度があり、ご本人やご家族の状況に応じて紹介しますので、長寿福祉課窓口へご相談ください。

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年7月9日

団体名：春和会

No.	質問要旨	回答
3-6	市長が掲げる「燕はひとつ」という理念の中に、現在3地区で開催されている夏まつりを一つに統合する計画があるか。	【市長】 夏まつり連絡協議会で議論がありましたが、現状では時期尚早だと考えています。燕・吉田・分水地区のそれぞれに魅力があり、安易な統合は地域の活気を損なう可能性もあります。 今回のまつりのフィナーレでは「つばめデジタル花火」を実施し、3地区の太鼓団体が共演します。まずは地域間の交流と一体感を醸成する機会を提供することを目的としています。
3-7	防災訓練時の防災無線のアナウンスが聞き取りにくかった。防災無線が設置されていない地域があることや、火災情報のように電話で概要を確認できるような仕組みを導入してほしい。	今後はアナウンスが聞き取りやすいよう努めます。また防災無線以外にも防災つばめ〜ル、市公式LINE、市ホームページ、ラジオなどの情報伝達手段があるので併用いただきたい。 【担当課補足】 防災無線の放送内容を専用の自動音声応答電話（0256-77-8303 / 24時間以内）や市ホームページのテキスト履歴で再確認できます。